

平成 21 年 1 月 6 日

各 位

株式会社泉州銀行

モバイルによる投信運用損益シミュレーションサービスの実施について

株式会社泉州銀行（頭取 吉田憲正）は、平成 21 年 1 月 7 日（水）から、地方銀行初となる、モバイルによる投信運用損益シミュレーションサービスを実施いたします。

本サービスは、泉州銀行の携帯サイトから会員登録されたお客さまに登録情報および基準価額にもとづき運用損益の試算を行うサービスです。（実際の取引を行うことはできません。）携帯電話のメールアドレスとパスワードで簡単にご登録いただけるため、投資信託をお持ちの方、これから資産運用を始めようとお考えの方に、「無料」でご利用いただけます。

1. 投資信託の運用損益シミュレーションが可能！

投資信託の約定日と購入金額を入力するだけで、現在の運用損益状況をシミュレーションいたします。購入していない投資信託のシミュレーションもできるので、今後の投資信託選びにもとても便利です。しかも一度入力した投資信託は次から再入力しなくてもログインするだけで確認できます。

2. 自分が購入した投資信託を簡単管理！

複数の投資信託をまとめて管理することができます。投資信託ごとの運用損益はもちろん、自分が購入している複数の投資信託の運用損益もまとめて計算してくれるので、現在の運用損益もすぐに分かります。

3. いつでも、どこでも、手軽にアクセス！

携帯電話でアクセスできるから、いつでもどこでも、気になる投資信託の運用損益を手軽にチェックできます。

1	名 称	<センギン>モバイル投信運用損益シミュレーション
2	利用料金	無料（別途、パケット通信料金は必要です。）
3	利用端末	NTT ドコモ（i モード）、au（EZweb）、ソフトバンク（Yahoo!ケータイ）
4	利用方法	①会員登録 ・ 当行携帯サイトへアクセスし、利用規約を確認のうえ、ID（携帯メールアドレス）等の必要項目を登録してください。 ・ 本登録用メールが届くため、URL をクリックすると登録完了です。 ②ファンド登録 ・ ファンド選択の上、約定日と購入金額を入力し、登録してください。 ③運用損益シミュレーション ・ シミュレーションに関する注意事項を確認いただくと、運用損益合計画面を表示いたします。

以 上

【投資信託に関するご注意事項】

- ◎ 投資信託は、預金商品ではなく、元本の保証はありません。
- ◎ 投資信託の基準価額は、組入れ有価証券等の値動きにより変動するため、お受取金額が投資元本を割込むリスクがあります。外貨建て資産に投資するものは、この他に通貨の価格変動により基準価額が変動するため、お受取金額が投資元本を割込むリスクがあります。これらのリスクはお客さまご自身が負担することになります。
- ◎ 投資信託は、預金保険の対象ではありません。
- ◎ 当行で販売する投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ◎ 当行は、投資信託の販売会社です。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社または海外の投資顧問会社が行います。
- ◎ 投資信託をご購入の際は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧いただき、内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【株式投資信託に係るお客さまの負担となる費用】

（平成 19 年 9 月 30 日現在）

申込時に直接負担 いただく費用	申込手数料	申込価額 × 3.15%（税抜 3.0%）以内
換金時に直接負担 いただく費用	信託財産留保額	換金請求受付日の基準価額 × 1.0%以内 * 換金請求受付日の翌営業日または翌々営業日の基準価額を適用するファンドもあります。
保有期間中にファン ドが負担する費用 （間接的に負担い ただく費用）	信託報酬	総資産額の年 1.995%（税抜 年 1.90%）以内
	その他の費用	上記のほか、ファンドでは売買委託手数料、監査報酬、組入資産の保管等に要する諸費用、先物取引・オプション取引等に要する費用、投資するファンドの信託報酬等を負担しております。 「その他の費用」については、ファンドにより異なります。また、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※ お客さまにご負担いただく費用等の合計額については、ファンドやお申込代金、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

※ 公社債投資信託・中期国債ファンドにおいては、上記記載と異なりますので、投資信託説明書（交付目論見書）にてご確認ください。

商号等 株式会社 泉州銀行
登録金融機関 近畿財務局長（登金）第12号
加入協会 日本証券業協会、（社）金融先物取引業協会